令和７年度　恵社研研究計画

研究の全体構造図

【研究主題】

社会認識を深め、社会とかかわり続ける力を育む社会科学習の創造

【目指す子ども像】

・社会的事象を深く学び、社会認識を深めていく子ども

・主体的な学びを通して、社会とかかわり続ける子ども

【研究仮説１】

子どもの社会認識を形成するためのプロセスを意識した単元構成を工夫することで、学びを通して主体的に社会にかかわり続ける子どもを育成することができるだろう。

【研究仮説２】

社会的事象から「なぜ？」「どうして？」と疑問をもたせ、探究する授業構成を工夫することで、社会的事象を深く学ぶ子どもを育成することができるだろう。

【研究仮説３】

子どもの実態を踏まえた学習の中で一人一人の学びを的確に評価することで、自分の考えを深め、社会に関心をもち続ける子どもを育成することができるだろう。

【研究内容１】

子どもの社会認識を形成していく単元構成の工夫

①社会認識を獲得するプロセスを意識した単元構成の工夫

②身近な素材を教材化し、学びを通して社会とかかわる場の設定

【研究内容２】

「なぜ？」「どうして？」と疑問をもたせ、社会的事象を探究する授業構成

①問いや資料・教材の吟味

②社会的事象を探究し、捉えなおす（再構成する）場の工夫

【研究内容３】

学びを深め・子どもを伸ばす学習の評価

①評価の種類と活用

②思考をまとめ・思考の伸びを見るために「書く」

【恵庭市 研究内容１】

探究的な学びを通じて社会認識を育む単元構成の工夫

⑴ 社会認識を深める探究的な単元構成

⑵ 学びの地図（単元の指導計画）による学習の見通し。

【恵庭市 研究内容２】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」による授業構成

⑴ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を組み合わせた授業展開

⑵ 子どもの思考を活性化させる発問

【恵庭市 研究内容３】

学びを深め、子どもを伸ばす学習の評価

⑴ 「学習のまとめ」における子どもの言葉での記述

⑵ 「学びの振り返り」を通した学習過程のメタ認知